第2回 技術者倫理事例研究発表会（2020年6月）

ご応募のお願い

　中部本部の技術士会会員、技術士、修習技術者、技術者の皆様

　既に2019年12月2日付でご案内しましたように、2020年6月14日（日）に「第2回 技術者倫理事例研究発表会」を開催致します。前回（今年6月）の発表会では、計7本の応募があり、5本の発表(下記参照)とともに、他1本の投稿原稿を配布。内容的にも多様であり50名の聴講者からも好評でした。

　今回も多くの皆様からご応募いただいて、広がりと深みのある興味深い発表会にしたいと思います。

　“倫理”は、何か特別なものではありません。技術者・技術士業務の中で、当然行っている様々な配慮、安全・健康・福利の優先に止まらない様々な思いやり、役割への自覚、それらを実現する工夫や努力、責任ある遂行、勇気ある判断、人材教育など、様々な価値軸の中で悩み判断していること自体が“倫理”です。指示されたこと以上のことをしている技術者は、常に“倫理”的判断をしています。

　“倫理”は、負の“倫理問題”や“規律”などの硬いイメージがありますが、“善行”、“美徳”も、そのための“挑戦”も“倫理”です。現代的には、むしろそのような“積極的な倫理”が注目されています。例えば、SDGsへの創造的な工夫・貢献なども“倫理”です。もちろん、過去の事例から学び反省し教訓を導き出すこと、伝えること、“技術者の倫理”を考察することも引き続き大切です。

　全ての部門・業務で行われている、そのような“倫理”の実践・教育・研究を発表しあうことで、互いに学びあい刺激しあう、そのような発表会にできればと考えています。

　＜参考＞前回（2019年6月―第1回）の発表テーマ

　　　　・「法科学と技術の完成」

・「新入社員を対象とした技術者倫理教育」

・「不具合の兆候を報告できる技能者の教育」

・「度重なる船舶の遭難・沈没事故及び近年までの損傷事故から学ぶ」

・「公益確保のために立ち上がろう」

　なお、今回から「原稿」による発表者選定を行うことにしました。これは「要旨」だけでは選定が難しかったことへの反省です。また今回から、提出後に査読サービス、つまり論文指導を受けられるようにしました※１。自らの“倫理”経験や知見、主張の発表機会として、また論文力向上を図る機会として、この発表会をご活用いただければと思います。

（※1：査読サービスの適用可否は、応募「原稿」により主催者側で判断します。ご了承ください。）

　応募方法は、中部本部ホームページなどから「募集要項」等をご確認ください。

　皆様の積極的なご応募をお待ちしております。

2019年12月 吉日

公益社団法人日本技術士会　中部本部倫理委員会